

こんにちは 中根さちの ハーブシター



日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内1-2-20 2017.9.3
自宅 872-9324 高知市福井町1475-3 NO.531

高知の農業・農家を守れ！ 県議団が6月に続いてJAを訪問



地域の農業を守りたい
“多品目で安全な食糧を”

6月、文徳内閣が農業改革法を成立させた中、県議団は、各地の農業協同組合を訪問し、農業農家を次世代に引きつぐと同時、食の安全をはかるための協力協同をよびかけています。6月には、県の東部へ、8月22、23日には、県の西部の4つの

農協を訪問しました。はじめてない自由化と農協の解体する国のあり方は、みずから安全を確保したい。地域の食の安全、農業を守りたい。国のモデルのよきな農業はやっていけない。今の農業の困難は、自民党政の結果など、現場ならではの具体的な、現場との協力協同を。

ついついおぼろげに思いますが、また、農業に従事する人手が不足し、外国人労働者が多く、県の農業を手助けしている状況も踏まえ、次の世代が引きつぐ農業づくりや、それぞれの時代におわせて改革を重ねてきた農協の歴史を乱暴にふみにいってほしくない、いがおぼろげに思っています。

（日本共産党志位委員長）
北朝鮮の弾道ミサイル発射に抗議！
一対話による解決に逆行する行為を中止せよ

北朝鮮は、国連安保理決議に違反して、核実験・ミサイル開発をすすめてきました。これ以上の军事的な行動は中止すること、とりわけ今回の発射は、米国を含めて、国際社会が対話による解決を模索しているもとで、それに逆行する行為であり、中止せよ。また、関係国に対して経済制裁の厳格な実施強化と一体し、対話解決の道をほばり強く追求するよう要請しました。

てくてく歩記 (528)

暑い、忙しい夏は、とぶよりに過ぎ、夏のおわりは、北朝鮮の無法なミサイル発射に世界がゆさぶられています。

各首相は、トランプ大統領と約40分間も電話対談をおこなって、「北朝鮮に文相の用意がないことは明らかであり、いまは圧力をさらに高めるべき時だ。『すべての選択肢が』とトランプというアメリカの立場を支持している」とおっしゃっています。アメリカの中でも、トランプ國務長官が、「米国の北朝鮮政策は、対話に向かわせる平和的圧力だ。我々は対話の敵ではない」と発言するなど、戦争回避の直接対話をおもひ動かす国際的気運が広がっています。21世紀は戦争のない世紀に！！